

2021年6月

第129号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
Tel. 018-883-1888

「オリンピックとコロナの戦い」

オリンピック開催予定日7月23日まで2ヶ月を切った。本来なら開催のための準備で国内も世界も大きな話題となり盛り上がっている時期だ。

しかし、オリンピック開催を延期すべきだとか中止すべきだ、などの声が高まり、逆に開催が危ぶまれる状況となっている。

開催延期・中止論の主な理由は、1.世界中がコロナで苦しんでいる状況の中、オリンピック開催で浮かれている場合ではない 2.国内でも緊急事態宣言が出されている県が増加傾向に有り外国から大勢の人を迎えるとなるとコロナがさらに蔓延する可能性がある 3.国内のコロナ関係に携わる医療関係者並びに医療機関の受け入れ態勢に混乱を来す恐れがある 4.オリンピックを陰で支えるボランティア予定者の辞退が相次いでいる、等の声がある。更に、オリンピック出場予定者に対しても開催に反対するよう心無い圧力も見られ残念なことである。

一方、オリンピックは19世紀末にフランスのピエール・ド・クーベルタン の提唱によって始められたものであり、スポーツを通じて個人が成長し、その人々が交流することによって、世界平和が作られるとの考え方がベースとなっており、その思い描いた理想を「オリンピズム」と呼んでいる。

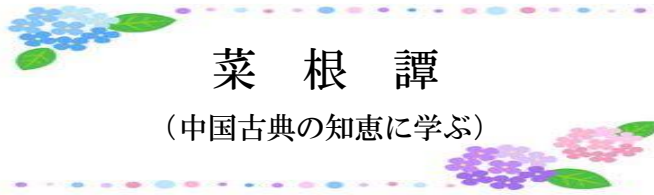
この「オリンピズム」は「スポーツを通して心身を向上させ、さらに文化・国籍などの相違を乗り越え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって理解しあうことで、平和でより良い世界の実現に貢献すること」を目指すものとなっている。

今回の東京オリンピック開催は2013年9月にアルゼンチンのブエノスアイレスのIOC総会で決定されたものだ。福島第一原発の汚染水問題などを抱え当時の安倍首相が懸念を払拭するために自らが説明に立たれたり、国を挙げて誘致運動を展開した結果「東京開催」に決まったものである。

「お・も・て・な・し」をアピールした滝川クリステルさんの映像が目に焼き付いており、国民の多くが誘致成功に惜しめない拍手を送り56年ぶりの日本開催に大きな期待を寄せていた。

多くの外国人が日本を訪れ東日本大震災で賞賛された人々の連帯感や「おもてなしの国」日本を再認識していただく絶好の機会であった。経済的な打撃もあるが世界の多くの人達との交流の輪の広がりの機会を失う損失は測りしれないものがある。

まもなく最終的な結論を出す時期を迎えると思われるが、問題は「コロナ」をどう抑え込めるかにかかっている。今われわれ国民にできることは三密を避け、マスクを着用し、路上飲酒などの行為を慎むことである。時間制限や観客数の制限等の依頼を受けている業者に全面的な協力をお願いしたい。ワクチン投与などが迅速に広く行き渡るように行政のさらなる踏ん張りを期待したい。



菜根譚

(中国古典の知恵に学ぶ)

苦境に耐える

昔の人は、「山を登るときは険しい斜面に耐えて登り続け、雪道では、危険な吊り橋に耐えて前に進め」と言ったが、この「耐える」と言う言葉には深い意味がある。

この世には善人もいれば悪人もいる。

その中を渡り歩くのは容易ではない。

しかしそこであきらめたり逃げたりすれば、山道で藪や穴に落ち込むように、さらに苦しい状態に陥る。

大切なのは、「耐える」力を身につけ、辛抱強く生きていくことだ。

(前集 179 後段)

自分に何があっても動揺しない

名声を得ても屈辱を受けても、動揺せず正々堂々としていよう。

それはちょうど、庭先の花が咲いたり散ったりする様子を眺めているような穏やかな気持ちだ。

また、今の地位にとどまろうが降格されようが、全く意に介さないことだ。

それはちょうど、空に浮かぶ雲が、風まかせに巻いたり伸びたりと自由に形を変えているのに似ている。

(後集 70)

逆境にあって自分を磨く

人間は、逆境に置かれている時ほど、なんとかこの境遇から抜け出したいと一心不乱に自分を磨き鍛えるため、人間的に大きく成長できる。

ただ、当の本人が気づかないだけだ。

逆に、何もかもうまくいっているときほど、人は境遇に安心しきって、努力や鍛錬を怠ってしまうため、成長がとまってしまう。

ただ、当の本人が気づかないだけだ。

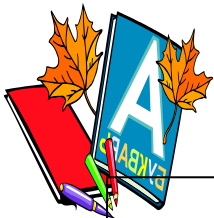
(前集 99)



加藤 清正 (安土桃山から江戸時代の武将、肥後熊本藩初代藩主)

- 1562年6月24日(永禄5年) 刀鍛冶加藤清忠の子として現在の名古屋市中村区に生まれた。
- 1573年(天正元年) 羽柴秀吉の大政所親戚であった縁で、近江長浜城主となった秀吉の小姓として仕えた。
- 1582年(天正10年) 秀吉が中国経略中、冠山城を攻めた時一番乗りを果たした。
- 1582年(天正10年) 本能寺の変起こる。山崎の戦いに参加。
- 1583年(天正11年) 賤ヶ岳の戦いでは、敵将を討ち取るという武功を挙げ「賤ヶ岳の七本槍」の一人として3000石の所領を与えられた。
- 1585年7月(天正13年) 秀吉関白就任。同時に従五位下・主計頭に。
- 1588年(天正16年) 秀吉九州平定に従い、肥後国領主の佐々成政の肥後北半国19万5千石で、隅本城に入る。
- 1591年(天正19年) 隅本城を改修熊本城とした。
- 1592年(文禄元年) 文禄・慶長の役では1万人単位の兵を率いる武将として朝鮮民衆から「鬼上官」として恐れられ活躍した。
- 1598年(慶長3年) 秀吉が死去すると五大老の徳川家康に接近、家康の養女を継室として娶った。
- 1600年(慶長5年) 関が原の戦いの後、肥後南半を与えられ52万石の大名となる。
- 1611年6月24日(慶長16年) 家康と豊臣家との和解を斡旋するなどしたが肥後へ帰国の途中急死。享年50歳。

オススメの BOOK



「鳴かずのカッコウ」

作者 手嶋 龍一 出版社 小学館

作者は作家で外交ジャーナリスト。元NHKワシントン支局長を務める。本書は、国益と陰謀が渦巻く国際諜報活動の現実を生々しく表現している。北朝鮮や中国との貿易の中でも、表面的な貿易とは相違して、国家間の秘密に属する貿易が数多く存在する。その貿易に関与している人物を様々なルートから解明しようと、目に見えないところで活躍している人達が居る。しかし、あくまでも秘密裏のことを運ぶ。思い込みの調査は失敗する。



くらしと保険のおはなし

あなたは現金派ですか？

2019年10月の消費税増税と同時にキャッシュレス・ポイント還元事業が始まり、キャッシュレス決済を使える場所は急速に増えてきました。

現在のインフラを社会として維持するために必要なお金の印刷、輸送、店頭設備、ATM費用（運営コスト）、人件費等は年間約9兆円ものコストが必要とのデータもあります。

キャッシュレス決済の種類は多く、大きく「スマホ決済」と「カード決済」の2タイプに分類できます。

キャッシュレス支払手段の例とメリット・デメリットは図の通りです。

種類	クレジットカード	デビットカード	スマホ決済	電子マネー
例	JCB、VISA、アメリカン・エキスプレス、MasterCard	VISAデビットカード、JCBデビットカード、楽天デビットカード	おさいふケータイ、Apple Pay、Google Pay、楽天ペイ、LINE Pay、PayPay	Suica、ICOCA、WAON、nanaco、iD、Pasmo
支払	後払い	即時払い	前払い・後払い	前払い(後払い)
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 銀行残高がなくても使える キャッシング機能でお金を借りられる 海外でそのまま使える 	<ul style="list-style-type: none"> 審査が必要ない 使い過ぎの心配が少ない お金を管理しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> お財布を持ち歩かなくていい 決済スピードが早い お金を管理しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 審査が必要ない 使い過ぎの心配が少ない お金を管理しやすい
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 審査がある 発行まで時間がかかる 使い過ぎに注意 	<ul style="list-style-type: none"> キャッシング機能がない ETCカードが作れない 	<ul style="list-style-type: none"> バッテリーが切れると使えない アプリ起動に時間がかかる 	<ul style="list-style-type: none"> チャージに手間がかかる チャージし忘れると使えない



種類が沢山あって迷いますが、よく利用するシーンを想定し、その時もらえる特典をチェックするなど、自分の目的にあったキャッシュレス支払いを選びましょう。

政府は2025年の大阪万博までに「キャッシュレス決済を40%に」という目標を掲げ、キャッシュレス化を進めています。また、新型コロナ流行後の新しい生活様式では、お札や硬貨に触れることなく支払いができることから「感染予防になる」という理由でキャッシュレス利用者が増えているようです。安全性などに多少不安があるものの使いこなせばメリットが多いのも事実です。

紛失のリスクは現金も同じです。使い過ぎについては上限額を設定するなどの対策を講じながら少しずつキャッシュレスに慣れて、賢く買い物ができるようにしたいものです。



6/20は父の日です。
日本に父の日が浸透したのは1981年「日本ファザーズ・ディ委員会」が設立されてから。日頃の感謝を形にするのもよいかも…

【編集後記】

今年は大雪が関係しているかどうかわかりませんが、庭の草花が例年より早く、しかも多く花をつけているように感じます。

話題は毎日コロナで溢れていますが、一日も早く笑顔での暮らしを取り戻すことができるよう願いたいものです。

大相撲夏場所は照の富士が優勝しました、来場所は綱取りがかかる大事な場所となります。怪我や病気を乗り越えての頑張りには本当に模範となるものですが、本人は、インタビューではまだまだ稽古が足りない、来場所にむけてももっともっと頑張りたいと力強い言葉が聞かれました。

一生懸命な努力に応援したいと思います。